



金剛寺開祖

文覚上人と金女郎狐の縁

平安時代最末期、金剛寺の開祖、文覚上人のもとに金色の毛並みを持つ、美しいきつねが現れました。

きつねは早世してしまつた自らの子の供養を文覚上人に願ひ出たといひます。上人はきつねの深い母性愛に感銘を受け、快く供養をしたそうです。上人の丁寧な祈りによって、子ぎつねの魂は安らに彼岸に導かれたと伝えられます。西間門の金剛寺の境内にある稲荷神社には、母ぎつねが「金女郎狐(金色の雌狐)」として、丁寧に祀られています。

この稲荷神社は優しさや家族愛の象徴として尊ばれ、地元の人や参拝者が家内安全や学業成就、親子の絆を願って訪れる場所となつており、文覚上人ときつねのハートフルな伝説は金剛寺の靈験譚として今日も親しまれています。



さらにディープな情報はエフエムぬまづで聴くことができます！

エフエムぬまづ(76.7MHz)では「深掘り！ぬまづの宝100選」を放送中です。宝にゆかりのあるゲストをお招きし、パーソナリティ神田あや乃さんが現地取材しながら、個性と魅力にあふれるぬまづの宝100選を紹介しつづけます。毎月第1・3土曜日の10時20分頃からラジオやインターネットでお聞きいただけるほか、過去の放送は市公式ポッドキャストで配信しています。

☎広報課 ☎055-934-4839



ぬまづの宝100選



©NUMAZU City Office

広報ぬまづ 2025年2月1日号 No.1729 <https://www.city.numazu.shizuoka.jp/>

広報紙に関するお問い合わせ、ご意見・ご感想は☎410-8601 沼津市役所 広報課までどうぞ。
■TEL 055-934-4703 ■FAX 055-935-1560 ■メール kouhou@city.numazu.lg.jp
この広報紙は、再生紙を使用しています。

がいこくごばん
こうほうぬまづ
はこちら

